

北上川流域ものづくりネットワーク

平成 29 年 4 月~6 月 活動状況報告

| 平成 29 年度定時総会の開催

5月31日、ホテルシティプラザ北上で、当ネットワークの平成29年度定時総会を開催しました。ご参加いただいた会員企業の皆様に感謝申し上げます。

当日は、94 会員企業の皆様にご参加をいただき、前年度事業及び決算についてご承認いただくとともに、 今年度の役員、事業内容、予算を決定しました。

また、入会期間5年または事業協力回数10回に達した2会員企業様に感謝状の贈呈を行いました。

さらに、岩手県立大学総合政策学部准教授近藤信一氏より、「中小企業における IoT の利活用と経営戦略 とビジネスモデルー消極的対応と積極的対応ー」と題して講演をいただきました。

今年度の活動方針は次のとおりですので、引き続き会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

事業方針1:次の10年に向けた方向性に基づき、新たな事業を展開します

次の 10 年に向けた方向性と方向性実現に向けて提案された事業を基に、10 年後のものづくり産業を担う人材を育成する新たな事業を展開していきます。

また、広報活動の展開、会員の主体的活動の強化や会員拡大など、運営態制の充実を図ります。

事業方針2:いわての未来を見据えた人材育成を進めます

学生や児童生徒など、これからの地域を支える人材の育成とともに、教員の指導力向上や企業と学校の連携を促進し、将来の"ものづくり人材"の育成体制を強化します。

また、会員企業の従業員のレベルアップに向け、人材育成の取組を展開します。

事業方針3:県北・沿岸地域と連携しものづくり産業の発展を目指します

県北沿岸地域のネットワークと連携しながら、県全体のものづくり産業の発展に向けた取組を進めます。







Ⅱ 小中学校の工場見学・出前授業支援

4月早々、各小中学校から工場見学や出前授業の問い合わせ、申込みを多くいただきました。6月までの実施は6件でしたが、夏から秋にかけての申込みも多数いただいており、学校の意向を確認しながら各企業との日程調整を行っています。ご協力いただきました企業様にはお忙しい中での対応に感謝いたしますとともに、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。







Ⅲ 工業高校生等の技術向上と資格取得の促進

黒沢尻工業高校専攻科で、岩手県内陸・沿岸地域の企業を見学したほか、出前授業でQC的問題解決法を学びました。また、盛岡工業高校、花北青雲高校はそれぞれの地域の企業見学を実施し、工場の現場で地元企業を理解しました。

さらに、花北青雲高校でNC 旋盤作業3級の資格取得を目指した実技講習会を実施しました。7月末の本 検定に向け、6回開講します。生徒、講師ともに熱のこもった講習となりました。







IV ☆新規事業☆ 小グループ勉強会「生産性向上のための からくり改善勉強会」

6月23日、当ネットワークの新規事業である「からくり改善勉強会」が開講しました。8社から12名の参加とNW会員企業様からの講師、世話人のご協力を得て、第1回を迎えることができました。

講義では、講師の佐藤好夫氏(トヨタ自動車東日本㈱)から、「からくり改善とはなにか」や、「からくり改善の目的と狙い」についてお話いただきました。続いて、持参した「からくり模型」で重力による旋回移送の原理を解説されました。講義の要旨は以下のとおりです。

- ① からくり改善とは・・作る人、使う人に「安全第一」であり、お金を掛けず創意工夫によって作業 現場における重筋作業や作業改善をし、QCDS向上を図るものである。 構造はシンプルで、故障トラブルには迅速に対応出来る事が求められる。
- ② からくり改善の目的と狙い・・現場作業の安全と軽減を図る目的で、創意工夫と知恵で手作りの改善を行う。その過程での創意工夫、知恵だしが人材育成、チームワークと職場の活性化にも繋がって行く。

事例紹介では、世話人の大下隆之氏(㈱ミクニ)から自職場に於ける改善事例として、テコ原理を応用したアニール炉の扉開閉、滑車と重りを使った薬品保管庫の自動開閉扉などを動画により紹介していただきました。また、重筋作業改善に、バネを活用したスイング傾斜のプラ容器置台などの説明に併せて、「からくり改善」に取り組む際の勘どころについて解説されました。

グループ討議では2グループに班分けし、各社から出された課題について、講師や世話人からアドバイスを受けながら、グループメンバーで知恵を出し合い相互理解を図りました。

次回は参加された企業の巡回視察を行い、各現場で質疑や議論を行う予定です。







北上川流域ものづくりネットワーク事務局 (岩手県 県南広域振興局 経営企画部 産業振興課)

〒023-0053 岩手県奥州市水沢区大手町1-2 Tel:0197-48-2421 Fax:0197-22-3749 https://www.facebook.com/kitakamigawanw



北上川流域ものづくりネットワーク 平成29年度 活動状況一覧

1 小中学校等対象事業

(1)工場見学、出前授業

No.	/工場兒子、山前技 内容	実施期日	実施校	学年	人数	協力会員等	
1	工場見学	H29.4.20	一関市立千厩中学校	1	72	白金運輸㈱ 北上市産業支援センター いわてDE育成センター 岩手大学金型技術研究センター	
2	工場見学	H29.5.30	奥州市立水沢中学校	1 159		デサントアパレル(株) 水沢工場 (株)キンレイ I.S.W (株)千田精密工業 小岩金網(株) 岩手衣川工場 (株)デジアイズ (株)回進堂 ファインシンター東北(株) (有)藤里木工所 鎌田段ボール工業(株)	
3	出前授業	H29.6.7	北上市立飯豊中学校	1	106	北上市役所 商工部産業雇用支援課 工業係長 高橋 正臣 氏	
4	工場見学	H29.6.28	盛岡市立向中野小学校	5	137	トヨタ紡織東北㈱ ㈱東北佐竹製作所	
5 工場見学 H29.6.30 北上市立飯豊中学校 1		106	谷村電気精機㈱ 大森クローム工業㈱ ㈱東北イノアック北上工場 トヨタ輸送東北センター(株) (株)上神田歯研 (株)薄衣電解工業				
6	出前授業	H29.6.30	一関市立千厩中学校	1	104	千住スプリンクラー株式会社 品質保証部部長代理 千葉 よし子 氏	
	第1四半期実施回数 6回					協力企業等数 延べ23団体	

北上川流域ものづくりネットワーク 平成29年度 活動状況一覧

2 高校 短大等対象事業

(1)実技講習会等

No.	内容	実施期日	実施校	学年	人数	協力会員等
1	NC旋盤作業3級	H29.06.17	花北青雲高校(情報工学科)	3	1	横河電子機器㈱ 瀬川 義明 氏
2	NC旋盤作業3級	H29.06.24	花北青雲高校(情報工学科)	3	1	横河電子機器㈱ 瀬川 義明 氏
第1四半期実施回数 2回				2	協力企業等数 延べ2団体	

(2)工場見学、出前授業

No.	内容	実施期日	実施校	学年	人数	協力会員等
1	工場見学	H29.05.12	黒沢尻工業高校(専攻科)	1	15	(株)やまびこ 盛岡事業所 (株)ミクニ (株)アイカムス・ラボ
2	工場見学	H29.05.26	黒沢尻工業高校(専攻科)	1		(株エノモト 岩手工場 平庄(株) 大槌食品工場 双葉精密(株)
3	工場見学	H29.06.07	盛岡工業高校(電子機械科)	3		盛岡セイコー工業(株) (株)ミクニ
4	工場見学	H29.06.20	花北青雲高校(情報工学科)	1	42	(株)デンソー岩手 谷村電気精機株)
5	工場見学	H29.06.23	黒沢尻工業高校(専攻科)	1		(株)大昌電子 一関工場 (株)長島製作所 藤沢工場
6 出前授業 H29.06.30 黒沢尻工業高校(専攻科) 1		15	株式会社デンソー岩手 モノづくり革新部 モノづくり革新課 担当係長 髙橋 玲子 氏			
	第1四半期実施回数 6回					協力企業等数 延べ13団体

3 会員企業対象事業

(1)からくり改善勉強会

No.	内容	実施期日	参加者数	協力会員等		
1	第1回	H29.6.23	8社、12名	トヨタ自動車東日本㈱ ものづくり研鑚部ものづくり改革室 岩手製造技術Gアドバイザー 佐藤 好夫 氏 (株)ミクニ 大下 隆之 氏 三光化成(株) 小野寺 敬子 氏		
		第1四半期実於	拖回数 1回	協力企業等数 延べ3団体		

北上川流域ものづくりネットワーク 平成 29 年度 事業計画進捗状況

【小中学校等対象事業】

		H 2 9	4~6月	
	単位	目標	実績	摘要
(1) 工場見学・出前授業支援	口	73	6	

【高校·短大等対象事業】

		H 2 9	4~6月	
	単位	目標	実績	摘要
(1) 実技講習会等支援	口	45	2	
(2) 工場見学・出前授業支援	口	25	6	

【会員企業等対象事業】

		H 2 9	4~6月	
	単位	目標	実績	摘要
(1) グループ勉強会	期	1	1	【新規事業】
「からくり改善勉強会」	口	6	1	【机风争未】